

関ヶ原町内 幼・小・中学校施設の耐震結果

平成20年6月に地震防災対策特別措置法が改正され、公立の小・中学校等の校舎等について耐震診断を実施した建物ごとにその結果を公表することが義務付けられました。よって関ヶ原町における、平成23年12月現在の建物ごとの状況を下記のとおり公表します。

尚、今須小中学校及び関ヶ原小学校については、建築基準法の改正（S56年6月）後に建築されているため、耐震診断等は実施していません。

（H23.12現在）

学 校・園 名	建 物 概 要			耐 震 診 断		耐震化工事
	建 物 区 分	建 築 月 日	構 造 階 数	実 施 年 度	結 果 I s 値	実 施 年 度 (計 画)
関ヶ原小 (体育館)	校舎	H20. 3	RC 2	-	-	新耐震基準
	校舎	H21. 2	RC 2	-	-	
	屋体	S59. 3	S	-	-	
今須小中 (体育館)	校舎	S60. 6	RC 3	-	-	新耐震基準
	屋体	S61. 2	S	-	-	
関ヶ原中 (体育館)	校舎	S41. 3	RC 3	H12	0.31	} H24～H26 までに改築 予定
	校舎	S41. 7	RC 3	H12	0.28	
	屋体	H 4. 2	S	-	-	
関ヶ原小 附属幼稚園 (旧南幼稚園)	園舎	S53.12	RC 2	H19	0.40	H24～H27 までに耐震 補強予定
関ヶ原北小 (体育館)	校舎	S53. 5	RC 3	H19	0.51	H21年度 より廃校 (解体予定)
	屋体	S53.12	S	H19	0.10	
関ヶ原北小 附属幼稚園	園舎	S53. 3	S 1	H19	0.60	H21年度 より廃園 (社会福祉施 設に転用)

建物区分 屋体＝屋内体育館

構 造 RC＝鉄筋コンクリート造、S＝鉄骨造

上記の耐震診断は、社団法人岐阜県建築士事務所協会に委託して、第2次診断により実施したものです。

町では、平成19年度から耐震化工事を順次実施しています。早期の段階で、耐震化が必要な建物すべてについて工事を完了するよう進めて参ります。

Is値とは・・・

Is値は、建築物の耐震性能を判断するための数値（構造耐震指標）で、国土交通省では安全の目安として0.6以上としています。

なお、文部科学省では学校施設について、建物の特殊性や避難所としての用途を考慮し、耐震改修の目安としてIs値を0.7以上としています。

Is値	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性
0.3未満	大規模な地震に対して、倒壊または崩壊の危険性が高い
0.3～0.6未満	大規模な地震に対して、倒壊または崩壊の危険性がある
0.6以上	大規模な地震に対して、倒壊または崩壊の危険性が低い

大規模な地震とは震度 6 強から震度 7 程度を想定しています。